

学校運営協議会 議事録

校 名	府立 港 高等学校
校長名	浦 山 聖

開催日時	令和7年2月14日（ 金 ） 15：30 ～ 17：05
開催場所	大阪府立 港 高等学校 1階会議室
委 員	千葉 真也 委員 佐藤 美智 委員 吉田 景一 委員 中田 昌彦 委員 久保田 徹 委員
学 校	校長 浦山 聖 教頭 宮城 良明 事務長 麻野 佳之 首席 芦田 健 教務主任 加藤 学 生徒指導主事 早川 宏行 自治会顧問 宮地 耕介 進路指導主事 今木 一充 3学年主任 青野 和弘 2学年主任 稲田 和明 1学年主任 吉田 正勝 教育相談委員長 鳥居 友貴
傍聴者	なし
協議資料	・ 学校教育自己診断アンケート結果について ・ 学年、分掌マネジメント表について（達成状況の報告） ・ 令和6年度 学校評価について ・ 令和7年度 学校経営計画について
備 考	

議題等（次第順）

大阪府立港高等学校 令和6年度 第3回学校運営協議会

次 第

1 開会 (司会 教頭 宮城 良明)

2 校長挨拶 (校長 浦山 聖)

3 報告

(1) 学校教育自己診断アンケート結果について

(2) 各分掌・学年の達成状況について（学年、分掌マネジメント表より）

- ① 教務主任
- ② 生徒指導主事
- ③ 生徒自治会顧問
- ④ 保健主事・教育相談委員長
- ⑤ 進路指導主事
- ⑥ 総務部長
- ⑦ 3学年主任
- ⑧ 2学年主任
- ⑨ 1学年主任
- ⑩ 人権教育推進委員長

4 協議

- ・ 令和6年度 学校評価 について
- ・ 令和7年度 学校経営計画 について
- ・ その他

5 諸 連 絡

来年度の協議会予定

第1回 令和7年 5月 9日（金）15:30～

第2回 令和7年10月27日（金）15:30～

第3回 令和8年 2月13日（金）15:30～

6 校長「閉会」の挨拶 (校長 浦山 聖)

報告・協議内容等（意見の概要）

報告

（１）学校教育自己診断アンケート結果について

＊各項目の肯定的な意見の数字、記述回答を確認し、次のように次年度に向けた本校の課題として３つにまとめてみました。

１ 生徒規律の継続性と規律の徹底

＊生徒たちが自発的に規律を守っていけるように、教員の指導のありようの改善を図るとともに、教員の自己満足に終わっていないか自己点検が必要である

２ 保護者との連携を効率的に進めていく

＊保護者との意思疎通がしっかりと図れるよう、連絡の取り方等見直す必要がある。

３ 進路指導と生徒の自主性伸長に向けた取組の推進

＊生徒が学校の進路指導をどこまで活かしているのか確認が必要であり、保護者にも理解を深めていただけるようにする。また授業改善の取り組みを進める。

（２）各分掌・学年の進捗状況について（学年、分掌マネジメント表より）

① 教務部

・遠隔授業の活用について、港高校としての対応の方針を見定める必要がある。

② 生徒部 生徒指導

・遅刻欠席数の目標について、次年度は数字でなく何％減という感じに変えたい。

③ 生徒部 自治会

・部活動の加入率が現時点で４０％とかなり低い。部活動で活躍する生徒が元気になれる取り組みを進めていきたい。

④ 生徒部 保健

・避難訓練について、生徒はもちろん教職員も全員参加ができるように事前の声掛けが必要。またいろんな状況を考え様々な訓練方法に対応することも大切。

⑤ 教育相談委員会

・他学年との情報共有を進める中で、学校として対応していく下地ができた。

⑥ 進路指導部

・全体の仕事の精選と内容の見直しを図り、より生徒希望をかなえられる状況を作る。

⑦ 総務部

・広報活動の強化により、図書館の利用者が増加している。この流れを次年度にもつなげていきたい。

⑧ 3学年

・進学希望者の90%超が進学先を確保し、就職希望者は内定率100%。及第点であると思う。

⑨ 2学年

・連絡すれば欠席・遅刻をしても良いという生徒が一定数いる。その点の意識を改善して学校に自己実現をするために積極的に通う姿を求めて生きたい。

⑩ 1学年

・遅刻、欠席数の増加している。休んだり遅刻したりするともったいない、と生徒が思う学校づくりを作りたい。

⑪ 人権教育推進委員会

・個人情報の管理意識が希薄で、その点を改善するべく、来年度に向けて講師の選定を進めていきたい。

協議 令和6年度学校評価について
令和7年度学校経営計画について（校長より）

【感想（質疑応答の時間が取れなかった）】

○印：学校運営協議委員のご発言

○年度末が近づき、入学者選抜を控えたこの時期に評価のシステムがあることに疑問を感じる。

○生徒対応の時間が十分とることができない現状が大きな問題。

○高校教育の無償化が現場に与えている影響は大きい。またDX化における人材保証がないことも、現場では仕事量が増える一方で、働き方改革と相反する状況を生み出している。

○回答率の差が大きく、特に生徒の回答数が少ないことが問題である。生徒の多様化を踏まえて学校の対応も変えていく必要があるため、回答率については一定数を確保できるようにするべきではないでしょうか。

○保健室の運営が苦しい（教員数の問題）中で先生方はよく頑張っていると思います。

○生徒の自主性が最重要だと考えるが、他の項目と並列で並んで示されると、分かりづらく学校の目指している方向がぼやけてくるように思う。

○学校教育自己診断アンケートの総括が、学校経営計画のどこに活かされているのかわかりにくい。せっかくご意見をいただいたのだから、それが明確に活かされていることがわかるようになっていると、今後の回答率の上昇にもつながるように思います。

○「めざす学校像」「中期的目標」など一つ一つの項目の説明はわかるのだが、一目で見て港高校はこんな学校と、わかるようになっているとありがたいです。

○情報発信は活発に行う必要がある。また、学年ごとに内容を精選して発信（わかりやすく伝えていくことを追求）することが肝要。一方で情報が多すぎると重要な点を見落とすことがあることに注意が必要。

諸連絡

来年度については2年任期の2年目となりますので、現在の委員の皆さまに引き続き継続してお引き受けいただきたく存じます。異動などの事情で交代をお考えの方は教頭までご連絡いただければ幸いです。

また来年度の予定は以下の通りです。

第1回 令和7年 5月 9日（金）15：30～

第2回 令和7年10月27日（金）15：30～

第3回 令和8年 2月13日（金）15：30～

次回の会議日程

日 時	令和7年5月9日（金） 15:30 からの予定
会 場	大阪府立港高等学校 会議室